国東市役所 新庁舎

TOTO

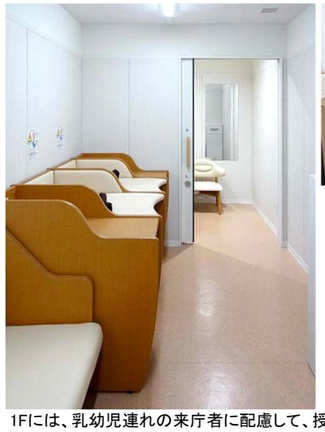
外観

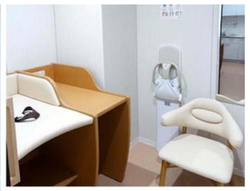
鉄筋コンクリート4階建て、延べ7315㎡の新国東市役所。
建物外周部の「くにさき回廊」には市内小中学生(約1900人)の名前を刻み、故郷への愛着を深めてもらいたい願いが込められている。

内観

エレベーターホールの壁やサインには、国東市の風物写真があしらわれ、国東の風土・文化を表現している。

1F　授乳室





1Fには、乳幼児連れの来庁者に配慮して、授乳用の椅子やおむつ替え用ベッドを備えた授乳室を用意。多機能トイレの利用集中の分散化にも一役買う。

3・4F　男性トイレ

小さな子ども連れ配慮として、ベビーチェア・フィッティングボードを設置したひろびろブースを設けた。小便器は最先端技術を備えた、RESTROOM ITEM 01。

市民ロビー

市民ロビーやくにさき回廊の天井には県産の杉材を使用。出納や諸証明、各種届出など、窓口業務を1Fに配置し、カウンター上部の案内表示は業務名を優先するなど、利用者の利便性向上に工夫している。

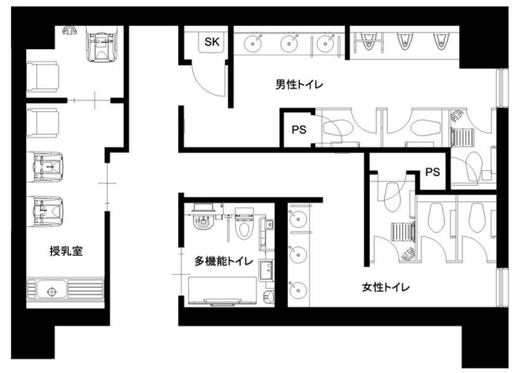
1・2F　女性トイレ

庁舎内のトイレは全て職員・来庁者の利用に配慮。洗面はデザイン性・清掃性に
優れたボウルレス体型カウンターを採用し、化粧鏡の前面に荷物棚を設けた。

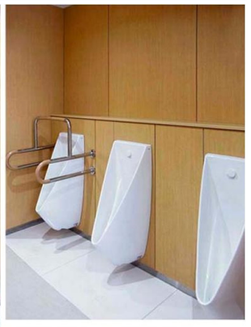
3・4F　女性トイレ

ユニバーサルデザインの要素を取り込み、手すり・棚付き紙巻器、小さな子ども連れ配慮としてベビーチェアやフィッティングボードを設置。
洗面コーナーはボウルレス体型カウンターを採用した。

1F　トイレ図面



1・2F　男性トイレ



男女トイレとも、高齢者用に手すりと棚付き紙巻器、小さな子ども連れ配慮としてベビーチェア・フィッティングボードを設置。小便器の床は、汚れとにおいを抑制するハイドロセラ・フロアPUとした。

1・2F　多機能トイレ

空間の美しさと快適さを追求したRESTROOM ITEM 01を採用。車いす使用者や乳幼児連れやオストメイトなど、多様な利用者に配慮した、多機能トイレを設置。

建築概要

名　　称	国東市役所 新庁舎
所 在 地	大分県国東市国東町鶴川149番地
施　　主	国東市
設　　計	株式会社東畑建築事務所九州事務所
施　　工	鴻池・木戸建築工事共同企業体
竣工年月	2016年1月

水まわりの特長

＜新庁舎建設の経緯＞
大分県北東部の国東半島東部に位置する国東市は、国見、国東、武蔵、安岐の4町が2006年に合併して発足した。市政10周年を期した新庁舎の建設に当たっては、「つなぐ」をコンセプトに「市民が利用しやすく親しみのある庁舎」、「災害対策拠点として機能する庁舎」、「環境にやさしい庁舎」を基本方針として、国東市の新たなシンボルとなる庁舎づくりを推進。既設の総合文化センター(アスト)及び中央公民館(アグリ)との施設連携により、市民が気軽に庁舎を訪れ、新たな交流が生まれるような、明るく開放的な空間の創造を目指した。

＜トイレの特長＞
庁舎を訪れるさまざまな利用者を想定して、各フロアに多機能トイレを設置。視覚障がい者への配慮として、音声案内装置を完備している。お子様連れに配慮した広めのブースや授乳室を個別に設けることで、車いす使用者やオストメイト、乳幼児連れの親子などさまざまな利用者の多機能トイレへの利用集中を分散させる配置計画がなされている。特に市民が利用しやすいよう窓口業務を集中させた1Fトイレでは、より来庁者が多くなるため、他のフロアに比べ、多機能トイレを1ヶ所多く設置。混雑緩和を図る工夫を施している。

2016.06 作成　無断複製・転載禁止　(C)　TOTO. LTD. 2016 All Rights Reserved　0000